

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成22年10月21日(2010.10.21)

【公表番号】特表2007-533985(P2007-533985A)

【公表日】平成19年11月22日(2007.11.22)

【年通号数】公開・登録公報2007-045

【出願番号】特願2007-508840(P2007-508840)

【国際特許分類】

G 0 1 N 33/53 (2006.01)

【F I】

G 0 1 N 33/53 D

【誤訳訂正書】

【提出日】平成22年8月31日(2010.8.31)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

プロタキニン1-37(A-ペプチド：配列番号10)、その断片、その前駆体、または前記の組み合わせを検出することを含む、アルツハイマー病、髄膜炎、頭蓋大脳外傷、脳梗塞、肺炎、局所感染、敗血症、外傷、多発性外傷および腫瘍を検出する方法。

【請求項2】

ex vivo体液サンプル、好ましくは血液、血漿または髄液における、前記成分の存在または濃度を測定する、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

請求項1もしくは2に記載の化合物を検出するのに適したマーカー、または請求項1もしくは2に記載の化合物に特異的に結合する化合物と組み合わせた、請求項1または2に記載の方法。

【請求項4】

ヒト個体または動物個体に由来する体液、組織または他の生体材料のサンプルにおける、請求項1から3のいずれか一項に記載の化合物または組み合わせの濃度を測定することを含む、請求項1から3のいずれか一項に記載の方法。

【請求項5】

濃度の測定を、請求項1から3のいずれか一項に記載の各化合物に特異的に結合する少なくとも1つの抗体を使用することによって実施する、請求項4に記載の方法。

【請求項6】

少なくとも1つの抗体が、検出可能なマーカーで標識されている、請求項5に記載の方法。

【請求項7】

マーカーが発光マーカーである、請求項6に記載の方法。

【請求項8】

アミノ酸配列が配列番号10であるペプチドに特異的に結合する1つまたは複数の抗体の使用を含む、請求項4から7のいずれか一項に記載の方法。

【請求項9】

プロタキニン1-37(A-ペプチド：配列番号10)、その断片、その前駆体、または前記の組み合わせに結合する抗体。

## 【請求項 10】

医療研究、試験および/または検証におけるマーカー/手段としての、請求項1から3のいずれか一項に記載の化合物/請求項9に記載の抗体の使用。

## 【請求項 11】

体液、組織および/または他の生体材料における、請求項1から3のいずれか一項に記載の化合物/請求項9に記載の抗体の濃度を測定することを含む、アルツハイマー病、髄膜炎、頭蓋大脳外傷、脳梗塞、肺炎、局所感染、敗血症、外傷、多発性外傷および腫瘍を検出する方法。

## 【請求項 12】

- 請求項11に記載の化合物の検出のための特異的抗体、または特異的抗体の組み合わせを使用すること、  
- 各サンプルにおける化合物または組み合わせの濃度を測定すること、  
- 濃度から、病気または疾患の存在および/または経過および/または重篤度および/または予後を推定すること、  
- 病気または疾患の存在および/または経過および/または重篤度および/または予後を求めるための更なる臨床データを加えること、  
を含む、請求項11に記載の診断方法。

## 【請求項 13】

各化合物に特異的に結合する少なくとも1つの抗体を表面に固定化し、化合物の他の部位に特異的に結合する二次抗体を化合物の検出のために使用する、請求項11または12に記載の方法。

## 【請求項 14】

抗体が、検出可能なマーカーで標識されている、請求項13に記載の方法。

## 【請求項 15】

抗体が、発光マーカーで標識されている、請求項14に記載の方法。

## 【請求項 16】

体液、組織および/または他の生体材料における、請求項1または2に記載の分子のレベルを測定し、それにより、各サンプルにおけるタキキニン/複数のタキキニンのレベルを推定することを含む、体液、組織および/または他の生体材料における、タキキニン/複数のタキキニンのレベルを測定するための、請求項11から15のいずれか一項に記載の方法。

## 【請求項 17】

タキキニンがサブスタンスPである、請求項11から16のいずれか一項に記載の方法。

## 【請求項 18】

- 検出可能なマーカーを含む、請求項9に記載の少なくとも1つの抗体、または  
- 請求項9に記載の少なくとも1つの抗体および検出可能なマーカー、  
を含む、免疫学的アッセイのためのキット。

## 【請求項 19】

配列番号10で示されるアミノ酸配列からなるペプチド、その断片、またはその前駆体。

## 【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0068

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0068】

(実施例5：A-ペプチドの定量測定のためのイムノアッセイ)

1. コンポーネント

PSP2-抗体でコーティングしたチューブおよび発光マーカーで標識したPSP1-抗体を、イムノアッセイにおいて使用した。これらのコンポーネントの産生は、実施例3に示す。